

令和元年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【1年目】

P T A名	静岡県立掛川特別支援学校 御前崎分校 P T A
学 校 名	静岡県立掛川特別支援学校 御前崎分校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部

1. 使用状況

寄贈物品名	プロジェクター
使用学年及び人数	1～3年 31名（全校生徒）
使用頻度	授業内容、活動内容によっては、毎日使用することもある。
使用状況	総合的な学習(探求)の時間、職業、保健、道徳などの各教科、更にはLHRや集会等で寄贈のプロジェクターを活用している。また、生徒が学習の成果をパワーポイントにまとめて発表する際にも活用している。
物品の使用による変化や効果	プロジェクターが1台増えたことで、どの学年も同時にプロジェクターを使った学習が可能になった。 授業の導入時に写真や動画を使用して生徒の興味関心を高めたり、キーワードを提示して理解を促したり深めたりすることにつながった。 また、生徒が情報機器を扱う場面も増え、生徒の自信につながっていると感じる。 生徒会選挙や人権学習等の全校集会がコロナ禍で行えなかったが、情報機器を活用したことにより教育課程を変更せず実施することができた。
今後の活用の見通しや課題	書き込みができるプロジェクターであるが、効果的に使用できる教員がまだ少ない。更に効果的に授業を進められるように、使い方を研修していく必要がある。
その他希望や所感など	日常的に活用できる物品を寄贈していただきありがとうございました。機能も豊富ですので、今後も活用して生徒の学びを深めていきたいと思っております。

2. 活用の様子



↑ 教員がプロジェクターを活用して学習を進めている様子



↑ 生徒による産業現場等における実習報告会の様子